

2周年特集 上



新型コロナウイルスの感染拡大に社会が揺れ続けたこの半年。不安が広まり始めた二日には、家庭での基本的な感染防止策などを伝えるよう心掛けました。

その後、政府が一斉休校を決める。子育て層には動揺が広がりました。三月初めに実施した緊急アンケートには、子どもへの運動

東京すくすくは今年、サイト開設一周年を迎えました。記事を読んだり、コメントしてくれたりする皆さまにあたたかく感謝しています。この一年を振り返り、編集チームが感じたことを二回にわたりつづけます。

知恵と思いを共有

子ども相次ぎ、子どもたちの居場所が狭められていく事態に。編集チームでモヤモヤした気持ちを語り合い、座談会記事として発信すると、「感染対策なのだから我慢すべきだ」との批判も少なからずありました。一方で「少しホッとした。こんなふうに子どもの遊べ権利を大事にする考えがあるんだ」という声も。「家庭によって考え方や価値観が違ふのは当たり前。敵対するんじゃないよ、自分もOK、相手もOKでください。どんな立場の人もみんなできる範囲で頑張ってると思うから」とのコメントに今、大切にしたい姿勢と学ばされました。

小中学生の親を中心に関心が集まったのは、休校中の課題やオンライン授業のあり方でした。「子どもに新しい勉強を教えながら、家事も仕事もはできません。休校が延長されると言われ、大量の課題

写心

テーマ=秋の気配
くツクツクボウシ



伊藤 信男 (東京都世田谷区)

*子どもの絵「らくがき葉描き」と、写真投稿

視点

見張り塔から
メディアの今

専修大教授・山田健太さん



安倍政権と言論表現の自由

巧妙に異論封じた8年半

文を含む立法化に対し、批判をかわす狙いであえて、報道の自由に「配慮」などの文言を入れたが、これ自体が濫用の危険性を示すものだ。

が続いている。これに関連し、文化庁等の助成が、外形的客観性があるとは言いがたない判断で、採択取り消しが起きるなどの問題が起き続けて

り、自衛隊南スーダンPKO日報、そして桜を見る会と公文書の隠蔽・改竄・破棄は底なし沼の状況だ。さらには、コロナ禍でも明らかになった

第二は、村慶社会の完成によって、博物館・美術館における展示の中止や差し替え、市民集会の中止や自治体の後援取り消しが頻発した。その最たるものが「あいちトリエンナーレ」ではあったが、その前もその後も、同様の事例

第三は、情報公開の空洞化であり、知る権利の大きな後退だ。森友・加計問題に始ま

る。政権発足当初から一貫して、安倍・菅のコンビによって放送局に対してかけつけてきた圧力は、残念ながら現場にまで浸透し「政治的公平」という言葉による呪縛にかかっている。

そして第四は、メディアコントロールの徹底だ。前述した制度や運用の数ある問題を、本来はチェックすべきシヤリナリスム活動もまた大きく後退してしまった。それもまた政権の巧妙な異論封じ、メディア峻別の結果だ。言論の自由が弱いところから侵食され、本丸である権力監視のための批判の自由を奪いかねない段階まで進んだ。8年半であった。(隔月掲載)

太郎の国際通信



米大統領選の終盤に仕掛けられる「オクトバー・サマライズ(十月の鷲)」が、ひと月早くやって来たのかと思った。

トランプ大統領が戦役者ま「負け犬」呼ばわりしたという米誌「アトランティック」の報道がそれで、トランプ陣営に相当な打撃を与えると考えたからだ。

記事は、二年前にトランプ大統領が訪仏した際、パリ郊外にあるエンヌマルヌ米兵墓地への参拝を、雨で髪形が乱れることを嫌ってキャンセルしようとする。

の真偽は

「当時、そのような発言はなかった」とSNSに証言し始めた。

さらに、トランプ批判の暴露本を出版したジョン・ホルトン前国家安全保障問題担当補佐官までもが、トランプ弁護に回った。同前補佐官は八日に放送されたフックス・ニュースのインタビューで次のように語っている。

「その会議には私も出席し、午前十時半から、在仏米大使館で感霊へ行くかどうか話し合われた。主にジョン・ケリー首席補佐官(当時)が話をして、玉候が飛んでくりコブターは飛べず、陸路も不確定要素が多いので、仏の警察が反対しているという説明があり、大統領

言論表現の自由をめぐる動き

06・12	改正教育基本法成立
07・05	道徳の教科化
07・05	憲法改正手続き法(国民投票法、改正国会法)成立
06	イラク復興支援特措法改正
13・05	マイナンバー法成立
13・12	特定秘密保護法成立
15・09	安全保障関連法、改正個人情報保護法、改正マイナンバー法成立
16・05	改正「盗聴法」成立
17・06	「共謀罪」法成立
19・05	改正ドローン規制法成立
20・03	新型インフルエンザ等対策特別措置法を改正
20・04	新型コロナウイルスで緊急事態宣言を発令